

健康科学とその学際領域研究への誘い

新型コロナウイルスの蔓延は、人々の生活に多大なる影響を与えています。経済はもちろん健康への影響も無視できないものとなっており、従前の考えや価値観などからの転換が求められています。しかし、こうした新たな時代への課題すなわち未知の課題の解決策は誰も教えてくれません。ではどうすればよいのでしょうか。それは、「研究」を通して得られた知見を基にして、総合して解決策を見出していくことになります。私たちの身の周りには多くの課題が山積しています。それらに対する解答は、教科書やテキストをどんなに調べても見出すことはできません。つまり、未知の課題を解決していくには、研究を推進していく必要があります。

豊橋創造大学大学院健康科学研究科では、健康に影響を及ぼす生活環境因子を捉え、健康に関連する多様な俯瞰し、多角的な視点の下で健康の維持増進に係る健康科学という学際的研究を行う教育研究機関です。本研究科で、健康に関する未知の課題の解決に向けて研究に取り組む大学院生を求めています。健康科学研究への参画をお待ちしております。



健康科学研究科長
後藤 勝正

日程	理学療法学領域	9. 7(水) 19:00~20:30	10.18(火) 19:00~20:30
	看護学領域	9.24(土) 10:00~11:30	11.12(土) 10:00~11:30
会場	理学療法学領域	豊橋創造大学 A棟2F A21教室	
	看護学領域	豊橋創造大学 E棟3F E34教室	
申し込み方法	参加申込フォーム	右記セミナー申込フォームから必要事項をご入力ください。その際に申し込まれたメールアドレスへの返信をもちまして、申込完了となります。	
	Mail	kenkoukagaku@sozo.ac.jp 上記アドレスに「参加希望講座日」「氏名」「電話番号」 「対面方式かWEB方式(※理学療法領域のみ)」を記載してMailしてください。	
	電話	TEL.050-2017-2100	申し込み締切日 開催日の2日前まで お電話にてお申込ください。
参加方法	後日参加申込された方にお知らせします。参加案内はセミナー開催の2日前までにお送りします。届かない場合は下記までお問い合わせください。		

セミナー
申込フォーム



お問合せ先

豊橋創造大学 入試センター TEL:050-2017-2100 Mail:kenkoukagaku@sozo.ac.jp

本セミナーに関する質問事項等があれば、上記のお問い合わせ先まで連絡をお願いいたします。

[諸連絡]いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

2022年度オープンラボ プログラム

9.7 (水)

理学療法学領域
対面+オンライン方式

時間

19:00~20:30 (約90分)

大学院の学びについて:15分 / 教育講座:60分 / 事務連絡:10分

教育講座 **骨格筋可塑性の謎**

後藤 勝正

骨格筋は、我々の運動機能の中核をなす器官であるのは言うまでもない。骨格筋は、生体内外からの刺激を受容し、その刺激に応じて適応・変化を示す。例えば、疾病やケガなどによる不活動や加齢は、骨格筋を萎縮させ虚弱化させる。一方で、トレーニングやリハビリテーションは、骨格筋機能を向上させかつ筋肥大をもたらす。トレーニングにより肥大した骨格筋も、不活動により萎縮するし、逆に萎縮した骨格筋も適切なりハビリテーションで回復する。このように、骨格筋は大きな可塑性を持つ。この可塑性を生体内外からマニピュレーションできれば、骨格筋萎縮の予防や萎縮した骨格筋の早期回復が可能となる。これは世界的な研究テーマにもなっている。そこで、骨格筋機能の適応のメカニズムと今後の研究の展開について概説する。

9.24 (土)

看護学領域
対面方式

時間

10:00~11:30 (約90分)

大学院の学びについて:15分 / 教育講座:60分 / 事務連絡:10分

教育講座 **看護技術の根拠を探る**

藤井 徹也

日常生活援助や診療の補助の看護技術の最新の根拠と課題について紹介します。同時に、大学院での研究テーマになり得る看護技術の研究を考えます。

10.18 (火)

理学療法学領域
対面+オンライン方式

時間

19:00~20:30 (約90分)

大学院の学びについて:15分 / 教育講座:60分 / 事務連絡:10分

教育講座 **変形性関節症の歩行分析と人工関節術後の理学療法**

金井 章

ヒトが日常生活を送る上で、下肢関節へ大きな力学的負荷が加わっている。そこで、そのような関節への生体力学的作用を歩行分析から確認するため、リハビリテーションを行う上で問題となる下肢変形性関節症の病態と、歩行に及ぼす影響について考え、人工関節置換術後の理学療法について紹介する。

11.12 (土)

看護学領域
対面方式

時間

10:00~11:30 (約90分)

大学院の学びについて:15分 / 教育講座:60分 / 事務連絡:10分

研究実施の新しい形:研究への患者・市民参画PPI

教育講座 **(Patient and Public Involvement) について**

桂川 純子

科学の発展において、研究活動はエビデンスを構築し提供するという重要な役割を果たしている。近年、この研究活動、とくに医科学研究において、研究の専門家ではない患者、家族、市民を研究対象者ではなく、パートナー(共同研究者・研究補助者)として意思決定に関与させようとする試みがある。これは、患者が自身の病の体験をネガティブなものとしてのみならず、社会にとって有用で、意味のあるものとして捉える機会となる可能性がある。本講座では、PPIの基本や国内での動向について概観し、人々の健康への意義を検討する。



豊橋創造大学大学院 健康科学研究科

〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1 TEL.050-2017-2100 Mail.kenkoukagaku@sozo.ac.jp